

## 吉田地区小学校の統合方針

教育委員会としては、適正規模・適正配置等に関する基本方針をもとに、これまで小学校においては標準的な学級編成において、将来的に複式学級解消の見込みのない学校を対象として、保護者や地域の皆様と検討・協議を重ね統廃合を行ってきました。

吉田地区の吉田小学校を除く4小学校においても、標準学級数では今後も複式学級が解消される見込みがないことが予想されており、吉田小学校においては複式学級が生じる見込みは当面ありませんが、児童数は減少傾向にあります。

このままでは、小学校へ通う間に自然に身に付くべき、競い合い、庇い合う、子どもたちが集団生活の中で多様な考え方の中から適切な考え方を選択する能力や人間関係の構築など、将来社会生活を営む上での生きる力を育む機会が、その選択肢があまりにも少ないまま過ぎ去ってしまうこと、今の時代に求められている協働的な学びを充実させることが困難であること等を教育委員会としては深く危惧しています。

このようなことから、保護者懇談会、住民説明会、代表者懇談会を開催し、統合に向けて協議をすすめることについて概ねご理解をいただいたことから、教育委員会としては、吉田地区5小学校の統合について、具体的な協議を進めております。

なお、小学校統合にあたっては、校舎の建築が必要となりますが、小中連携教育等、様々な要因を考慮した結果においては統合小学校の校舎建築場所は吉田中学校敷地内を考えています。

